



海辺・川辺調査レポート

■ 名 前 (ふりがな)	村上 牧歩
■ グループ名	
■ 学校名	伯方小学校
■ 学 年	5 年
■ 年 齢	10 歳
■ お手伝いしていただいた方の名前	おじいちゃん (村上速雄)

■ レポートした場所	愛媛県越智郡伯方町尾浦海岸付近
■ レポートの題名	海を育てる
■ 内 容	<p>私の住んでいる所は、愛媛県の伯方島という瀬戸内海にある小さな島です。この島には都会のような大きくて高いビルなどは全くないし、まわりのどこを見ても、海や山など自然のままで緑がたくさんあります。</p> <p>私のおじいちゃんはこの島で生まれて、海のことをよく知っているのので、いろいろ聞いてみました。</p> <p>私の調べた海は、夏にはよく泳ぎに行くきれいな海です。けれど見ただけでは分からない海の中の様子は昔とは大きく変化しているそうです。今から 60 年から 70 年くらい前にはたくさんの魚がいたのに、今から 40 年前には海が汚れてしまったこと、多くとりすぎてしまったことが原因で海から魚がすっかりと減ってしまったそうです。</p> <p>そこで、おじいちゃん達は国の考えで、この瀬戸内海をきれいで豊かなものと海に戻そうと「魚をとる漁業」ではなく「魚をつくり育てる漁業」のお仕事をしてきたそうです。タイやヒラメ、マダコ、オニオコゼなどを、卵をとり、ふ化、元気に育ててもとの海に放流する海づくりをしてきたそうです。今では多くの種類の魚介が大量生産できる様に研究がずいぶん進んだそうですが、海の汚染や魚の減少もどんどん進んでいるそうです。</p> <p>私は、豊かな自然をこわすことは、簡単なことでも、それを元に戻すことは、大変なことだと思いました。世界中の人々が海をこれ以上汚さないで、魚がたくさん住むことの出来る海を育てていく気持ちを持つことが大切だと思いました。</p>

昭和37年



昭和55年



平成15年

